

施策評価シート（令和元年度 実績）

まちづくりの方向性	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	2-3 二宮らしい産業の振興と雇用機会の創出
概要	<p>町が持つ資源を活用した町民の創意工夫による小規模な起業を支援することで、町の商工業の活性化と雇用機会の創出を目指します。</p> <p>町民や町民活動団体によるいわゆる「小商い」に対する支援を充実し、町内の雇用確保を図るとともに、にぎわいの創出と町民生活の質の向上に努めます。</p> <p>また、遊休農地などを活用して栽培した農産物の農商工連携による特産品づくりに対する支援や、空き店舗のレンタルオフィスとしての活用など、町民や民間事業者等による地域の未利用資源の有効活用による産業の活性化や雇用の場の創出を促進することで、職住が近接するワーク・ライフ・バランスの取れたまちづくりを進めます。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	農業振興事業	6,170			適当・維持		
2	農業委員会運営経費	5,382			適当・維持		
3	農業者年金事業	283			適当・維持		
4	畜産推進事業	1,592			適当・維持		
5	有害鳥獣対策事業	4,145			良好・拡大		
6	土地改良事業	10,413			適当・維持		
7	遊休・荒廃農地対策事業	1,561			適当・維持		
8	ふれあい農園事業	746			適当・維持		
9	里山再生育成事業	1,977			適当・維持		
10	水産振興事業	533			適当・維持		
11	漁港整備事業	7,317			適当・維持		
12	特産物普及奨励事業（農業再生事業）	3,225			適当・維持		
13	商工業振興対策経費	12,545			適当・維持		
14	中小企業金融対策事業	21,814			適当・維持		
合計		77,703	0	0			

成果（○） 課題等（●）	<p>○令和元年度の商工業者の起業・開業件数が目標を上回り9件となった。</p> <p>○二宮ブランドでは、オリーブ関連3商品を含め、4品目が新規認定された。</p>
-----------------	---

分析						
分析の視点	高い	←————→			低い	
	5	4	3	2	1	
妥当性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※1次評価「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	町商工会と連携して、起業家に対する指導・支援体制を整えた。また、新規就農者の要件緩和、支援強化を図っているところである。実績につながるよう、継続的な取り組みが必要である。

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 商工会、金融機関等と連携しながら、事業者を引き続き支援するとともに、新型コロナウイルス感染症等を含む状況の変化も踏まえつつ、ニーズに応じた取り組みを推進する。</li><li>・ 起業支援については、支援体制の成果やニーズを検証しつつ、より効果的な事業展開を模索していく。</li><li>・ 新規就農者の育成を始め、特産物の栽培支援等、地域資源としての農業振興に引き続き取り組んでいく。</li></ul>